SUNCORPORATION

通信モジュール一体型ルータ

取扱説明書（無線 LAN 版）

本書は、無線 LAN 機能について説明しています。必要に応じてお読みください。

http://www.sun-denshi.co.jp/sc/

はじめに

本書について

本書は、無線LAN機能について説明した取扱説明書です。はじめて製品をお使いになる場合および無線LAN以外の機能につきましては、「RoosterRX 取扱説明書」および「RoosterRX TELNET設定機能説明書」をご覧ください。

表記について

本書では、守っていただきたい事項に次のマークを表示しております。

機能停止を招いたり、各種データを消してしまったりする可能性があることを示しています。十分に注意してください。

関連する情報を記載しています。参考にお読みください。

無線LAN対応機種について

無線 LAN 対応機種は「Rooster RX110W」「Rooster RX130W」「Rooster RX160W」「Rooster RX180W」になります。

製品名について

本書では、「Rooster RX110W」「Rooster RX130W」「Rooster RX160W」「Rooster RX180W」を「Rooster RX」と省略して記載しております。

商標について

「Rooster」は、サン電子株式会社の登録商標および商標登録出願中です。
その他、本取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中の各社の商標または登録商標には、TM、®マークは表示しておりません。

本書についてのご注意

- 本書について、次の点にご注意ください。
  1. 本製品は無線によるデータ通信を行う事が出来る装置です。本製品の不具合、誤動作又は停電、回線障害、その他の外部要因によって通信障害が発生したために生じた損害等については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  2. 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することを禁止します。
  3. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
  4. 本書の内容につきましては、万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や、ご不明な点、誤り、記載漏れ、乱丁、落丁、その他お気づきの点等ございましたら、当社までご連絡ください。
  5. 適用した結果の影響につきましては、4 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
  6. 本書で指示されている内容につきましては、必ず従ってください。本取扱説明書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害や損害につきましては、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。
  7. 本書の画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは多少異なる場合があります。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

［通信内容を盗み見られる］

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報

メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

［不正に侵入される］

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

電波に関するご注意

1. 5.2GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
2. 本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しており、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

   ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

   ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社ユーザーサポートセンターまでご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

   ・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。
3. 本製品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として、DS-SS 方式及び OFDM 方式を採用しております。

目次

1章　無線LAN機能の概要

この章では、無線 LAN 機能の概要や特長、外観などについて説明します。

1-1 概要

本製品は無線 LAN モジュールを内蔵し、IEEE 802.11a/b/g/n の無線 LAN 規格に準拠した無線 LAN ルータです。

本製品は無線 LAN アクセスポイント(親機)として使用することができます。(※無線 LAN 端末(子機)としては使用できません。)

本書では無線 LAN に関する部分のみを説明しています。その他の部分の説明につきましては「RoosterRX 取扱説明書」をご覧ください。

1-2 主な特長

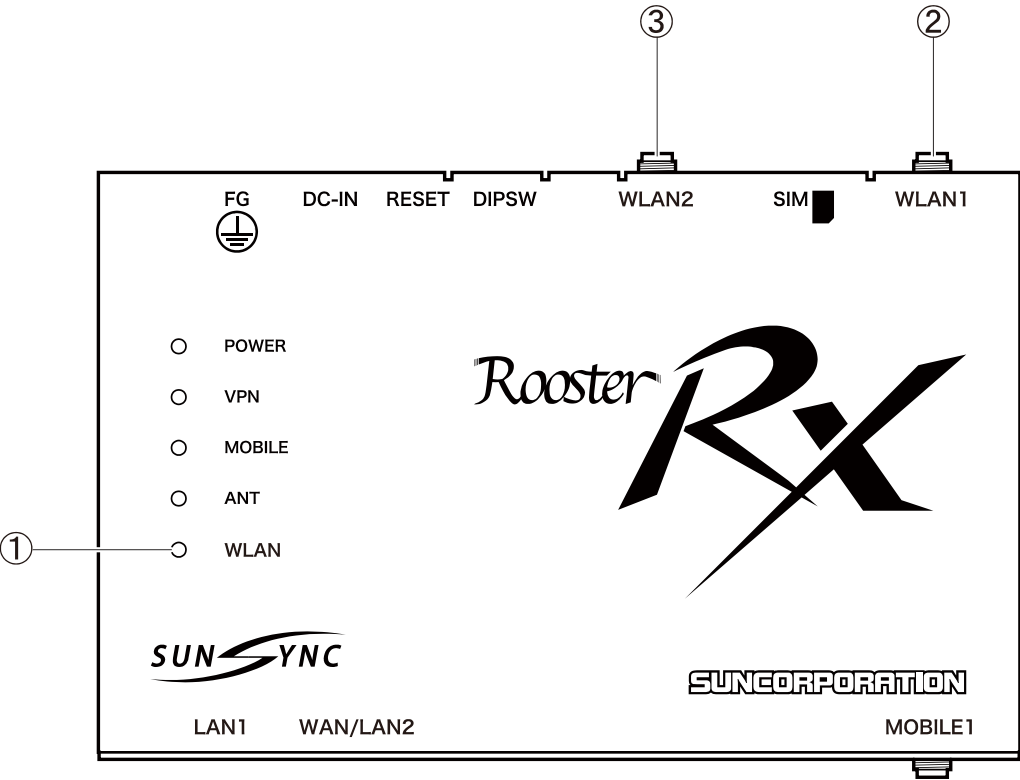
IEEE 802.11a/b/g/nに準拠

IEEE(米国電気電子学会)の 802 委員会が策定した無線 LAN の国際標準規格 IEEE 802.11a / IEEE 802.11b / IEEE 802.11g / IEEE 802.11n に準拠した国際標準無線 LAN です。

充実したセキュリティ機能

暗号化機能(WEP / WPA / WPA2)、SSID ステルス機能、プライバシーセパレータ機能、MAC アドレスフィルタリング機能、マルチ SSID と充実したセキュリティ対策が行えます。

本書では無線 LAN に関する部分のみを説明しています。その他の部分の説明につきましては「RoosterRX 取扱説明書」をご覧ください。

1-3 無線LAN関係の名称と機能

[RX110W の場合]

No.	名称	機能
①	WLAN ランプ	無線 LAN の状態を表示します。
②	無線 LAN アンテナコネクタ	無線 LAN アンテナを接続します。
③	無線 LAN アンテナコネクタ	無線 LAN アンテナを接続します。

➲ WLAN ランプの状態は、『1-4　WLAN ランプの状態と働き』をご覧ください。

本書では無線 LAN に関する説明のみを記載しています。その他の部分の説明につきましては「RoosterRX 取扱説明書」をご覧ください。また、本書では RX110W のイラストを例に無線 LAN に関する説明をしています。RX160W は無線 LAN 以外の部分で形状が異なりますので「RoosterRX 取扱説明書」を合わせてご覧ください。

本装置で無線 LAN を使用するためには、無線 LAN アンテナを接続する必要があります。本装置に適した無線 LAN アンテナをご使用ください。

1-4 WLANランプの状態と働き

ランプ状態説明

ランプ状態	補足
消灯	
点灯	
早い点滅	点滅より速く点灯と消灯を繰り返す状態です。

ランプ点灯・点滅パターン一覧

名称	ランプ状態	状態
WLAN	早い点滅	無線 LAN 通信状態です。
	点灯	無線 LAN 動作状態です。
	消灯	無線 LAN 停止状態です。

memo

本書では無線 LAN に関する部分のみを説明しています。その他の部分の説明につきましては「RoosterRX 取扱説明書」をご覧ください。

2章　無線LAN設定

ここでは、無線 LAN 接続するために必要な設定を行います。

2-1 基本設定

1. 設定ツールのメニューから、［インターフェイス］－［無線 LAN］－［基本設定］をクリックします。
「無線 LAN 基本設定」のページが表示されます。

2. ［無線 LAN を使用する］のチェックをオンにし、以下の設定を行います。

項目	内容
無線モード	使用する無線モードを選択します。 ［11a (5GHz)］［11a/n (5GHz)］［11b (2.4GHz)］［11b/g (2.4GHz)］［11b/g/n (2.4GHz)］のいずれかを選択します。 初期設定は［11b/g/n (2.4GHz)］です。
チャンネル	接続に使用する通信チャンネルを選択します。 ［無線モード］で 2.4GHz 帯を選択した場合は、［Auto］［1ch］［2ch］［3ch］［4ch］［5ch］［6ch］［7ch］［8ch］［9ch］［10ch］［11ch］［12ch］［13ch］のいずれかを選択します。 ［無線モード］で 5GHz 帯を選択した場合は、［Auto］［36ch］［40ch］［44ch］［48ch］のいずれかを選択します。 初期設定は［Auto］です。
拡張チャンネル	バンド幅で 40MHz で動作時の拡張チャネルを選択します。 [チャンネル]で 1～4ch を選択した場合は、［Auto］［上位チャンネル］のいずれかを選択します。 [チャンネル]で 5～9ch を選択した場合は、［Auto］［上位チャンネル］［下位チャンネル］のいずれかを選択します。 [チャンネル]で 10～13ch を選択した場合は、［Auto］［下位チャンネル］のいずれかを選択します。 [チャンネル]で 36/40/44/48ch を選択した場合は、［Auto］のみ選択できます。 初期設定は［Auto］です。

項目	内容
ビーコン送信間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を 50～4000ms の範囲で設定します。 初期設定は［100］ms です。
DTIM 間隔	DTIM 間隔を 1～100 回の範囲で設定します。 DTIM 間隔を 5 回で設定した場合、ビーコン送信 5 回毎に DTIM が送信されます。 初期設定は［1］回です。
RTS しきい値	RTS しきい値を 0～2347byte の範囲で設定します。 本製品の送信パケットが設定サイズよりも大きい場合、RTS（Request To Send：送信要求）信号を送信します。 初期設定は［2347］byte です。
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346byte の範囲で設定します。 本製品の送信パケットが設定サイズよりも大きい場合、パケットを分割して送信します。 初期設定は［2346］byte です。

3. ［設定］ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。

［設定］ボタンを押下する前に、選択項目の文字が灰色の項目が無いことを確認してください。選択項目の文字が灰色の項目があると正しく設定されません。
また設定完了後、WLAN ランプが点灯していることと、『4-1 無線 LAN ログ』にエラーログが無いことを確認してください。

2-2 SSID設定

2-2-1　SSIDリストの設定

1. 設定ツールのメニューから、［インターフェイス］－［無線 LAN］－［SSID 設定］をクリックします。「SSID」リストのページが表示されます。

インターフェイス

インターフェイスの各設定を行います。

無線LAN

SSID毎の設定を行います。

設定の追加 追加

No.	SSID	SSIDステルス	プライバシーセパレータ	MACフィルタリング	セキュリティ	メモ	操作
1	test	有効	有効	有効	WPA/WPA2		変更 削除

2. 新しく SSID の登録を行う場合は、［追加］ボタンをクリックします。設定済みの SSID を変更する場合は、［変更］をクリックします。
3. ［追加］ボタン、または［変更］をクリックすると、「SSID の詳細設定」ページが表示されます。［追加］ボタンをクリックした場合は空白の状態で、［変更］をクリックした場合は、「SSID の詳細設定」ページが表示され、表示されている SSID 設定の変更が行えます。［削除］をクリックすると、表示されている SSID 設定が削除されます。

memo　SSID の設定は最大 2 件まで行えます。

SSIDの詳細設定

No.	1
SSID	test
SSIDステルス	有効
プライバシーセパレータ	有効
MACフィルタリング	有効 リスト設定
セキュリティ	WPA/WPA2
WEP認証方式	Open
WEPキー	
暗号化方式	TKIP/AES
暗号化キー管理方式	PSK
事前共有キー	••••••••
キー更新間隔	3600 秒
メモ	test

設定 キャンセル

4. 以下の設定を行います。

項目	内容
No.	SSID 設定の通し番号が表示されます。
SSID	SSID を入力します。 ▶半角英数字 1～32 文字までの任意の文字列を入力できます。
SSID ステルス	［無効］［有効］のいずれかを選択します。 ［有効］にすると、ビーコン信号に SSID を含めません。 初期設定は［無効］です。
プライバシーセパレータ	［無効］［有効］のいずれかを選択します。 ［有効］にすると、無線端末間の通信が許可されません。 初期設定は［無効］です。
MAC フィルタリング	［無効］［有効］のいずれかを選択します。 初期設定は［無効］です。 ［有効］を選択した場合、リスト設定で指定した機器以外接続できなくなります。必ず MAC フィルタリングのリスト設定をしてください。 リストの設定方法は、『2-2-2　MAC フィルタリングリストの設定』をご覧ください。
セキュリティ	セキュリティ方式を選択します。 ［WEP］［WPA］［WPA2］［WPA/WPA2］のいずれかを選択します。 初期設定は［WEP］です。 ［無線モード］で［11a/n (5GHz)］または［11b/g/n (2.4GHz)］を選択した場合、［WEP］は設定できません。
WEP 認証方式	［セキュリティ］で［WEP］を選択した場合にのみ WEP 認証方式を選択します。 ［Open］［Shared］のいずれかを選択します。 初期設定は［Open］です。
WEP キー	［セキュリティ］で［WEP］を選択した場合にのみ WEP キーを入力します。 ▶暗号強度を「64bits」にする場合、半角英数字入力なら 5 文字、16 進数入力なら 10 文字を入力してください。 ▶暗号強度を「128bits」にする場合、半角英数字入力なら 13 文字、16 進数入力なら 26 文字を入力してください。
暗号化方式	［セキュリティ］で［WEP］以外を選択した場合にのみ暗号化方式を選択します。 ［TKIP］［AES］［TKIP/AES］のいずれかを選択します。 初期設定は［TKIP］です。 ［無線モード］で［11a/n (5GHz)］または［11b/g/n (2.4GHz)］を選択した場合、［AES］のみ設定できます。
暗号化キー管理方式	［セキュリティ］で［WEP］以外を選択した場合にのみ暗号化キー管理方式を選択します。 ［PSK］のみ選択できます。
事前共有キー	［セキュリティ］で［WEP］以外を選択した場合にのみ事前共有キーを入力します。 ▶8～63 文字の半角英数記号または、64 文字の 16 進数を入力してください。
キー更新間隔	［セキュリティ］で［WEP］以外を選択した場合にのみキー更新間隔を入力します。 キー更新間隔を 0～86400 秒の範囲で設定します。 ▶0 は無効設定となります。

項目	内容
メモ	設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力します。 ▶半角 16 文字（全角 8 文字）までの任意の文字列を入力できます。

4. ［設定］ボタンをクリックして設定内容を反映させます。［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定した内容を反映しないで SSID 詳細設定ページを閉じ、「SSID」リストのページに戻ります。

・［設定］ボタンを押下する前に、選択項目の文字が灰色の項目が無いことを確認してください。選択項目の文字が灰色の項目があると正しく設定されません。
　また、設定が完了したら『4-1 無線 LAN ログ』にエラーログが無いことを確認してください。
・MAC フィルタリングの［リスト設定］を行う前に、ここで一度［設定］ボタンをクリックして、設定内容を反映させます。［リスト設定］を先にクリックすると、設定した内容が破棄されてしまいます。

2-2-2　MACフィルタリングリストの設定

1. 設定ツールのメニューから、［インターフェイス］－［無線 LAN］－［SSID 設定］－［リスト設定］をクリックします。「MAC フィルタリング」リストのページが表示されます。

2. 新しく MAC アドレスの登録を行う場合は、［追加］ボタンをクリックします。設定済みの MAC アドレスを変更する場合は、［変更］をクリックします。
3. ［追加］ボタン、または［変更］をクリックすると、「MAC フィルタリングの詳細設定」ページが表示されます。［追加］ボタンをクリックした場合は空白の状態で、［変更］をクリックした場合は、「MAC フィルタリングの詳細設定」ページが表示され、表示されている MAC フィルタリング設定の変更が行えます。［削除］をクリックすると、表示されている MAC フィルタリング設定が削除されます。［戻る］ボタンをクリックすると、「SSID の詳細設定」ページに戻ります。

MAC フィルタリングの設定は最大 16 件まで行えます。

4. 以下の設定を行います。

項目	内容
No.	MAC フィルタリング設定の通し番号が表示されます。
MAC アドレス	接続を許可したい MAC アドレスを設定します。 (XX:XX:XX:XX:XX:XX)
メモ	設定内容を分かりやすくするための覚え書きを入力します。 ▶半角 16 文字（全角 8 文字）までの任意の文字列を入力できます。

5. ［設定］ボタンをクリックすると、「MAC フィルタリング」リストのページに戻り、設定した内容が反映されます。［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定した内容を反映しないで詳細設定ページを閉じ、「MAC フィルタリング」のリストのページに戻ります。

3章　無線LAN接続一覧の参照方法

この章では、無線 LAN の接続一覧を参照する方法について説明しています。

3-1 無線LAN接続一覧

1. 本製品と無線 LAN で接続されている機器の一覧は、設定ツールのメニューから、［ステータス］－［無線 LAN］をクリックします。

   「無線 LAN ステータス」のページが表示されます。

ステータス

現在の設定・状態を表示します。

無線LAN

無線LANの接続一覧を表示します。

ステータス: 動作中

再読込

No.	MACアドレス	SSID
1	[illegible]	SSID1

項目	内容
ステータス	無線 LAN の現在の状態が表示されます。
No.	接続機器の通し番号が表示されます。
MAC アドレス	接続機器の MAC アドレスが表示されます。
SSID	接続している SSID が表示されます。

無線 LAN のステータス一覧

ステータス表示	状態
無効	無線 LAN 設定が無効になっています。
未動作	無線 LAN モジュールが動作していない状態です。
停止中	無線 LAN サービスが停止している状態です。
動作中	無線 LAN が動作している状態です。

4章　無線LANログの参照方法

この章では、無線 LAN のログを参照する方法について説明しています。

4-1 無線LANログ

1. 設定ツールのメニューから、［ログ］ー［回線ログ］ー［無線 LAN ログ］をクリックします。

   無線 LAN ログ一覧のページが表示されます。

項目	内容
No	ログの通し番号が表示されます。番号が大きくなるほど、より新しいログとなります。Rooster RX が再起動した場合、1 から開始します。
記録時間	時刻設定がされている場合、ログの発生した時刻が表示されます。
ログ	無線 LAN の動作状態が表示されます。

5章　無線LAN TELNETコマンド

この章では、無線 LAN の TELNET コマンドの書式について説明しています。

5-1 基本設定

5-1-1　無線LANの使用

設定

機能	無線 LAN を使用するかどうかを設定します。
コマンド	set wlan use
パラメータ	第 1 パラメータ：　使用設定（0：使用しない、1：使用する）
動作	実行例： RX> set wlan use 0 ↵　　←コマンドを入力 RX>
初期値	0

取得

機能	無線 LAN 使用設定の設定値を取得します。
コマンド	get wlan use
パラメータ	なし
動作	実行例： RX> get wlan use ↵　　←コマンドを入力 0　　←現在の設定内容が出力される RX>

5-1-2　無線モード

設定

機能	無線モードを設定します。
コマンド	set wlan mode
パラメータ	第 1 パラメータ：　無線モード（0：IEEE802.11a、1：IEEE802.11a/n、2：IEEE802.11b、3：IEEE802.11b/g、4：IEEE802.11b/g/n）
動作	実行例： RX> set wlan mode 4 ↵　　←コマンドを入力 RX>
初期値	4

取得

機能	無線モードの設定値を取得します。
コマンド	get wlan mode
パラメータ	なし
動作	実行例： RX> get wlan mode ↵　　←コマンドを入力 4　　←現在の設定内容が出力される RX>

5-1-3　使用チャンネル

設定

機能	使用チャンネルを設定します。
コマンド	`set wlan channel`
パラメータ	第 1 パラメータ：　使用チャンネル（0 : Auto、1〜13 : 1〜13ch、36 : 36ch、40 : 40ch、44 : 44ch、48：48ch）
動作	実行例： `RX> set wlan channel 0 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	0

取得

機能	使用チャンネルの設定値を取得します。
コマンド	`get wlan channel`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan channel ↵` ←コマンドを入力 `0` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-1-4　拡張チャンネル

設定

機能	拡張チャンネルを設定します。
コマンド	`set wlan ext_channel`
パラメータ	第 1 パラメータ：　拡張チャンネル（0：Auto、1：上位チャンネル、2：下位チャンネル）
動作	実行例： `RX> set wlan ext_channel 0 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	0

取得

機能	拡張チャンネルの設定値を取得します。
コマンド	`get wlan ext_channel`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan ext_channel ↵` ←コマンドを入力 `0` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-1-5　ビーコン送信間隔

設定

機能	ビーコン送信間隔を設定します。
コマンド	`set wlan beacon`
パラメータ	第 1 パラメータ：　ビーコン送信間隔（単位：ms）
動作	実行例： `RX> set wlan beacon 100 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	100

取得

機能	ビーコン送信間隔の設定値を取得します。
コマンド	`get wlan beacon`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan beacon ↵` ←コマンドを入力 `100` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-1-6　DTIM間隔

設定

機能	DTIM 間隔を設定します。
コマンド	`set wlan dtim`
パラメータ	第 1 パラメータ：　DTIM 送信間隔（単位：回）
動作	実行例： `RX> set wlan dtim 1 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	1

取得

機能	DTIM 間隔の設定値を取得します。
コマンド	`get wlan dtim`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan dtim ↵` ←コマンドを入力 `1` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-1-7　RTSしきい値

設定

機能	RTS しきい値を設定します。
コマンド	`set wlan rts_threshold`
パラメータ	第 1 パラメータ：　RTS しきい値（単位：byte）
動作	実行例： `RX> set wlan rts_threshold 2347 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	2347

取得

機能	RTS しきい値の設定値を取得します。
コマンド	`get wlan rts_threshold`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan rts_threshold ↵` ←コマンドを入力 `2347` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-1-8　フラグメントしきい値

設定

機能	フラグメントしきい値を設定します。
コマンド	`set wlan frag_threshold`
パラメータ	第 1 パラメータ：　フラグメントしきい値（単位：byte）
動作	実行例： `RX> set wlan frag_threshold 2346 ↵` ←コマンドを入力 `RX>`
初期値	2346

取得

機能	送信出力の設定値を取得します。
コマンド	`get wlan frag_threshold`
パラメータ	なし
動作	実行例： `RX> get wlan frag_threshold ↵` ←コマンドを入力 `2346` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-2 SSID設定

5-2-1　SSIDリストの設定

設定

機能	SSID リストを設定します。
コマンド	`set wlan ssid list`
パラメータ	第 1 パラメータ：　設定番号（1～2） 第 2 パラメータ：　SSID（半角英数字 1～32 文字） 第 3 パラメータ：　SSID ステルス（0：無効、1：有効） 第 4 パラメータ：　プライバシーセパレータ（0：無効、1：有効） 第 5 パラメータ：　MAC アドレスフィルタリング（0：無効、1：有効） 第 6 パラメータ：　セキュリティ（0：WEP、1：WPA、2：WPA2、3：WPA/WPA2） 第 7 パラメータ：　WEP 認証方式（0：Open、1：Shared、*：無指定） 第 8 パラメータ：　WEP キー（5 or 10 or 13 or 26 文字、*：無指定） 第 9 パラメータ：　暗号化方式（0：TKIP、1：AES、2：TKIP/AES、*：無指定） 第 10 パラメータ：暗号化キー管理方式（0：PSK、*：無指定） 第 11 パラメータ：事前共有キー （8～63 文字の半角英数記号または 64 文字の 16 進数、*：無指定） 第 12 パラメータ：キー更新間隔（0～86400、*：無指定） 第 13 パラメータ：メモ（16byte までの文字列、*：無指定）

動作	使用しない場合の実行例：
	`RX> set wlan ssid list 1 NOTUSE ↵`　←コマンドを入力
	`RX>`
	SSID リストの設定例：
	`RX> set wlan ssid list 1 ssid 1 1 1 3 * * 2 0 wireless 3600 memo ↵`
	↑コマンドを入力
	`RX>`

初期値	なし
備考	• NOTUSE の場合、第 3 パラメータ以降を省略してください。 • 第 7 パラメータ以降で指定しない項目は、「*」を入力してください。 • 「WEP 認証方式」、「WEP キー」は「セキュリティ」で「0：WEP」を設定した場合にのみ設定してください。 • 「WEP キー」は下記の規則で入力してください。 暗号強度を「64bits」にする場合、半角英数字なら 5 文字、16 進数なら 10 文字を入力。 暗号強度を「128bits」にする場合、半角英数字なら 13 文字、16 進数なら 26 文字を入力。 • 「暗号化方式」「暗号化キー管理方式」「事前共有キー」「キー更新間隔」は、「セキュリティ」で「0：WEP」以外を設定した場合にのみ設定してください。

取得

機能	SSID リストの設定値を取得します。
コマンド	`get wlan ssid list`
パラメータ	第 1 パラメータ：　設定番号（1～2）
動作	実行例： `RX> get wlan ssid list 1 ↵`　←コマンドを入力 `ssid 1 1 1 3 * * 2 0 wireless 3600 memo`　←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-2-2　MACフィルタリングリストの設定

設定

機能	MAC フィルタリングリストを設定します。
コマンド	`set wlan macfiltering list`
パラメータ	第 1 パラメータ：　SSID 設定番号（1～2） 第 2 パラメータ：　設定番号（1～16） 第 3 パラメータ：　MAC アドレス（xx:xx:xx:xx:xx:xx） 第 4 パラメータ：　メモ（16byte までの文字列、*：無指定）

動作	使用しない場合の実行例：
	`RX> set wlan macfiltering list 1 1 NOTUSE ↵` ←コマンドを入力
	`RX>`
	MAC フィルタリングリストの設定例：
	`RX> set wlan macfiltering list 1 1 00:00:00:00:00:00 memo ↵`
	↑コマンドを入力
	`RX>`

初期値	なし

取得

機能	MAC フィルタリングリストの設定値を取得します。
コマンド	`get wlan macfiltering list`
パラメータ	第 1 パラメータ：　SSID 設定番号（1～2） 第 2 パラメータ：　設定番号（1～16）
動作	実行例： `RX> get wlan macfiltering list 1 1 ↵` ←コマンドを入力 `00:00:00:00:00:00 memo ↵` ←現在の設定内容が出力される `RX>`

5-3 ログを表示する

機能	ログを表示します。
コマンド	show log
パラメータ	第 1 パラメータ：　ログ表示対象（wlan）
動作	実行例： RX> show log wlan ↵　　　←コマンドを入力 　　1 : 2014/04/07 09:41:30 - '無線 LAN 制御サービスを開始します' 　　↑ログが出力される RX>

5-4 ステータスを表示する

機能	ステータスを表示します。
コマンド	show status
パラメータ	第 1 パラメータ：　以下の表示対象 wlan　- 無線 LAN の状態
動作	実行例： RX> show status wlan ↵　　　←コマンドを入力 STATE=動作中　　　←ステータス dev_name:uap0 Number of STA = 1　　　←接続子機数 STA 1 information: ==================== MAC Address: 00:00:00:00:00:00　　　←接続子機の MAC アドレス Power mfg status: active Rssi : -79 dBm　　　←受信信号強度 RX>

付録

製品仕様ー無線LAN

製品名			Rooster RX110W（ルースターアールエックス 110W） Rooster RX130W（ルースターアールエックス 130W） Rooster RX160W（ルースターアールエックス 160W） Rooster RX180W（ルースターアールエックス 180W）
型名			SC-RRX110W / SC-RRX130W / SC-RRX160W / SC-RRX180W
JAN コード			4907940130209（RX110W）
			4907940130223（RX130W）
			4907940130230（RX160W）
			4907940130216（RX180W）
無線 LAN インターフェース	準拠規格		IEEE 802.11a/b/g/n
	周波数範囲	2.4GHz 帯	2412MHz～2472MHz(1～13ch)
		5GHz 帯[W52]	5180MHz～5240MHz(36ch、40ch、44ch、48ch)
	5GHz 帯/2.4GHz 帯 同時利用		不可
	データ通信速度(※1)		IEEE802.11n ：最大 150Mbps IEEE802.11a/g ：最大 54Mbps IEEE802.11b ：最大 11Mbps
	アクセス方式		インフラストラクチャモード(アクセスポイント) ※最大接続可能 無線 LAN 端末数：10 台
	ネットワーク認証		オープンシステム、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK
	暗号化方式		WEP(64/128bit)、TKIP、AES
	その他機能		マルチ SSID： 最大数 2 MAC アドレスフィルタリング： 最大登録可能数 16 台 プライバシーセパレータ機能 SSID ステルス機能

※1 表示の数値は、本製品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

その他項目の仕様は「RoosterRX 取扱説明書」をご覧ください。

最新情報の入手

Rooster RX に関する最新情報は、弊社ホームページから入手することができます。また、バージョンアップ情報につきましても公開しております。

- 製品紹介ページ
  http://www.sun-denshi.co.jp/sc/rx/

ご質問・お問い合わせ

Rooster RX に関するご質問やお問い合わせは、下記へご連絡願います。

ユーザーサポートセンター

- 電話　0587-55-0161
- FAX　0587-55-0815
- メール　support-suncomm@sun-denshi.co.jp
- 受付時間　月曜～金曜　10:00～16:00（12:00～13:00 を除く）
  祝日、弊社休日を除く

Rooster RX 取扱説明書（無線 LAN 版） Ver.1.4.0

サン電子株式会社
2014 年 9 月発行　(140912)